

## 消防団車両からの出火について

走行中の消防団積載車から出火する事案が発生しました。

## 1 出火日時

平成 23 年 3 月 7 日（月） 午後 6 時 15 分ころ

## 2 出火場所

旭区本村町 27 番地先路上

## 3 出火車両

旭消防団第一分団積載車 平成 9 年式スバル 650cc（トラックタイプ）

## 4 焼損状況

積載している可搬式小型ポンプ（平成 20 年式ラビット消防ポンプ）1 台並びに車両後部荷台及び配線若干焼損

※ 可搬式小型ポンプ・・・消防団が消火活動を行う際に、消火栓等から水を揚水し、送水するための設備で、積載車に積載した形で運用しています。

## 5 出火原因

3 月 9 日にポンプ製造メーカー立会いのもと、実況見分を実施しました。

その結果、可搬式小型ポンプのキャブレターの一部からガソリンが漏れ、積載車のエンジンルームに入り、その蒸気が何らかの原因により引火して出火したと考えられます。

今後は、さらにガソリンが漏えいした原因について、ポンプ製造メーカーとともに徹底して原因を究明します。

※ キャブレター・・・ガソリンを空気と混ぜて霧状にしてエンジンに送り込む装置。

## 6 出火した状況

(1) 午後 6 時 15 分頃、火災予防運動の巡回広報を実施中、付近で交通取締りをしていたパトカーの警察官が、積載車後部から炎が出ているのを発見し乗車団員に知らせ、火災発生を確認しました。

(2) 直ちに車両を停止し、車載している消火器で消火するとともに、通報しました。

## 7 再発防止

可搬式小型ポンプの取扱要領を再確認するとともに、消防団に配置している全ポンプの点検を実施します。



積載車後部と可搬式小型ポンプの状況